

令和6年度当初予算(案)の概要



令和6年2月



目 次

1. 当初予算(案)の特徴	1
2. 当初予算(案)の規模	2
3. 歳入・歳出予算(案)の内訳(一般会計)	
(1)歳入予算(案)の内訳	3
(2)歳出予算(案)[性質別]の内訳	4
(3)歳出予算(案)[目的別]の内訳	5
4. 健全な財政運営	
(1)基金残高・基金取崩額の推移	6
(2)市債残高の推移	7
(3)行財政改革の推進	8
(4)デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進	9
5. 主要な施策・事業	
将来都市像Ⅰ 中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」	
1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり	10
2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり	15
3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり	18
将来都市像Ⅱ 誰もがあこがれる充実の「子育て・教育都市」	
4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり	20
5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり	23
6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり	26
将来都市像Ⅲ 全国に誇る、傑出した安心を築く「健康福祉・環境都市」	
7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり	27
8 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり	30
9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり	33
都市経営	
10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営	34
[お知らせ] ふるさと納税	36
[お知らせ] 企業版ふるさと納税	36
[お知らせ] 宝くじは身近なまちづくりに役立てられています	37
[お知らせ] 市民一人当たりの予算額は…	37

6. 予算編成過程の見える化	
(1)当初予算要求額に対する当初予算額(案)一覧	38
(2)市長査定項目一覧	40
(3)国の補正予算等に伴う前倒し実施予定事業一覧	41
7. 「社会保障と税の一体改革」の充実	42
[計数編]	
一般会計歳入・歳出	43
特別会計・事業会計	44
予算性質別経費	45
基金及び地方債現在高の状況	46

※数値は四捨五入を原則として端数調整を行っています。

1 当初予算(案)の特徴

～ つなぐ、はぐくむ、躍動するまち岡山 ～

令和6年度当初予算(案)は、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が進むなか、社会保障関係経費の増加や、長引く物価高騰に加え、公共施設等の老朽化対策や防災減災対策に万全を期しつつ、

○ 街を楽しむ

(路面電車の岡山駅前広場乗り入れ、商店街の活性化 等)

○ 地域の振興及び歴史遺産等を活用した観光

(地域振興基金を活用した経済・文化・生活の向上、史跡造山古墳群保存整備 等)

○ 子育て・教育の充実

(放課後児童クラブの待機児童解消、子ども医療費助成の拡充 等)

等の各分野、

さらにはDX・GXの推進などの重要施策に取り組むとともに、今後の物価高騰対策等にも臨機応変に対応できるよう、経常的経費の予算額の見直しや有利な財源、備えてきた基金の活用等により、将来負担の軽減を含めた一般財源を確保することで、過去最高額となった令和6年度の当初予算においても健全な財政運営を維持しつつ編成しています。

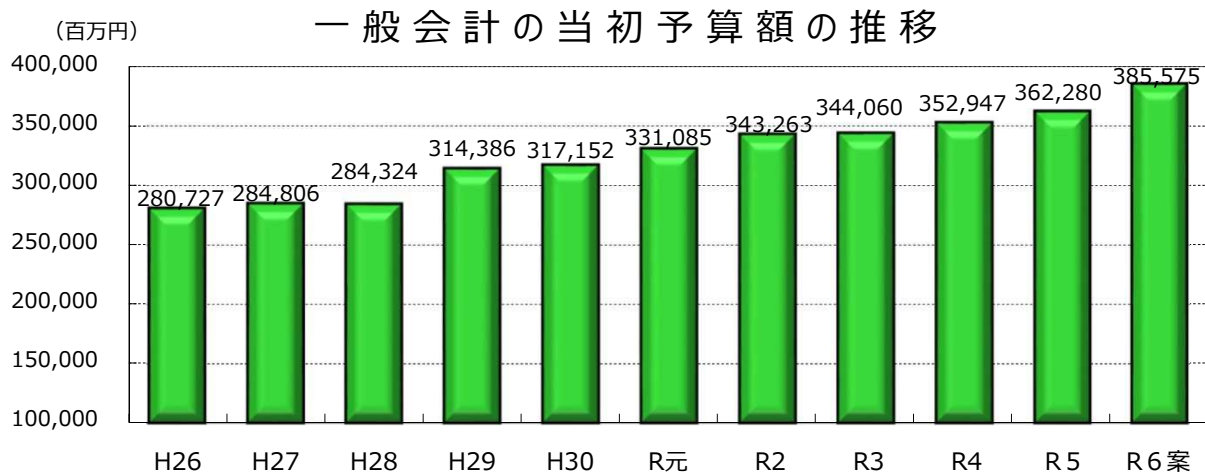
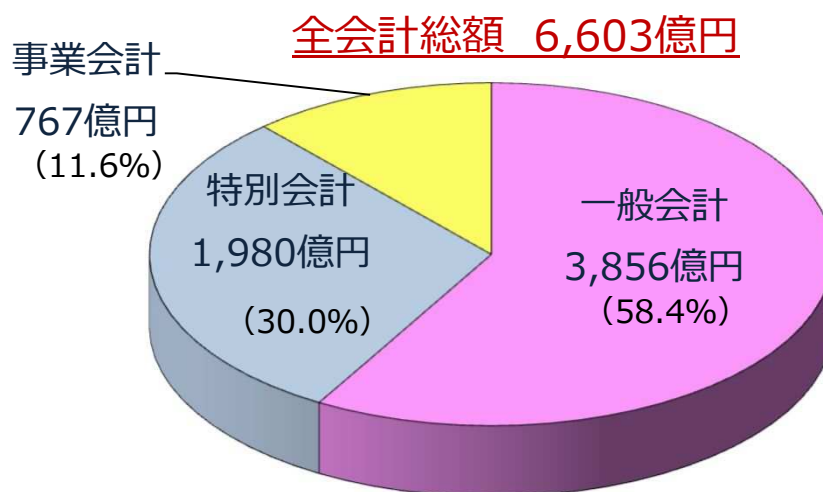


2 当初予算(案)の規模

- 一般会計は、過去最高となる 3,856億円
(対前年度比 233億円、6.4%の増)
- 一般会計、特別会計、事業会計を合わせた総額は 6,603億円
(対前年度比 220億円、3.4%の増)

(単位：百万円)

区分	令和6年度 当初予算(案)	令和5年度 当初予算	増減額	対前年度比
一般会計	385,575	362,280	23,295	6.4%
特別会計	198,019	199,197	△1,178	△0.6%
事業会計	76,684	76,872	△188	△0.2%
合計	660,278	638,349	21,929	3.4%



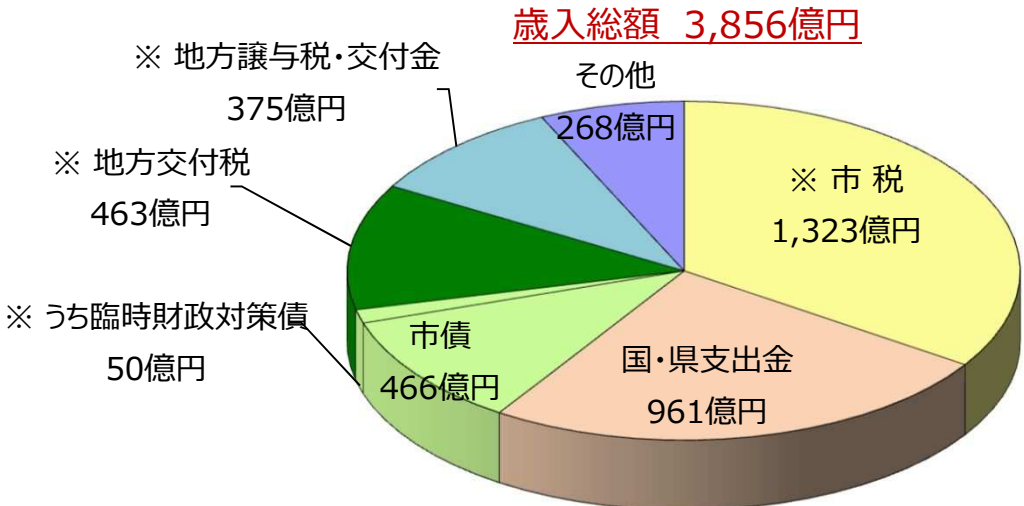
3 歳入・歳出予算(案)の内訳(一般会計)

(1) 歳入予算(案)の内訳

- 一般財源合計は、対前年度比で 25億円の増(+1.2%)
 - ・市税は、給与所得増による個人市民税の増加、地価上昇や企業の設備投資による固定資産税の増加などがあるものの、定額減税の影響(△41億円)などにより
同 21億円の減(△1.5%)
 - ・市債(うち臨時財政対策債以外)は、新庁舎整備事業費や学校特別教室空調設備整備事業費の増などにより
同 152億円の増(+57.5%)
- 国・県支出金は子どものための教育・保育給付費や障害者自立支援関係の増などにより
同 23億円の増(+2.4%)

(単位:百万円)

区 分	令和6年度	構成比	令和5年度	構成比	増 減 額	対前年度比
※ 市 税	132,322	34.3%	134,384	37.1%	△ 2,062	△1.5%
※ 地方譲与税・交付金	37,463	9.7%	32,153	8.8%	5,310	16.5%
※ 地方交付税	46,300	12.0%	43,700	12.1%	2,600	5.9%
※ 市 債	46,608	12.1%	34,725	9.6%	11,883	34.2%
※ うち臨時財政対策債	5,000	1.3%	8,300	2.3%	△ 3,300	△39.8%
※ うち上記以外	41,608	10.8%	26,425	7.3%	15,183	57.5%
国・県支出金	96,096	24.9%	93,822	25.9%	2,274	2.4%
その他	26,786	7.0%	23,496	6.5%	3,290	14.0%
うち財源調整基金繰入金	7,000	1.8%	9,000	2.5%	△ 2,000	△22.2%
合 計	385,575	100.0%	362,280	100.0%	23,295	6.4%
※ 一般財源 合計	221,085	57.3%	218,537	60.3%	2,548	1.2%

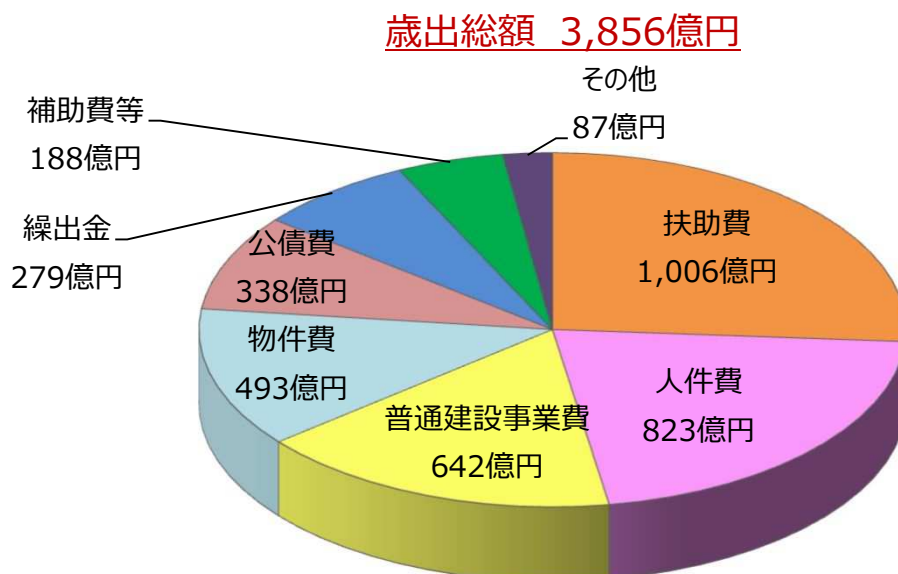


(2) 歳出予算(案)[性質別]の内訳

- 普通建設事業費は、新庁舎整備事業費や学校特別教室空調設備整備事業費、路面電車の岡山駅前広場乗り入れなどにより
対前年度比で 166億円の増(+34.8%)
- 扶助費は、子どものための教育・保育給付費や児童手当費の増加などにより
同 53億円の増(+5.6%)
- 物件費は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業が減少するものの、学校給食費の公会計化に伴う食材調達委託料の増加などにより
同 43億円の増(+9.7%)
- 補助費等は、企業立地推進事業補助金や岡山芸術創造劇場開館記念事業費の減少などにより
同 21億円の減(△9.9%)

(単位:百万円)

区 分		令和6年度	構成比	令和5年度	構成比	増 減 額	対前年度比
義 務 的 経 費	人件費	82,272	21.3%	81,367	22.5%	905	1.1%
	扶助費	100,584	26.1%	95,263	26.3%	5,321	5.6%
	公債費	33,819	8.8%	34,856	9.6%	△ 1,037	△3.0%
	小 計	216,675	56.2%	211,486	58.4%	5,189	2.5%
投 資 的 経 費	普通建設事業費	64,222	16.7%	47,646	13.1%	16,576	34.8%
	災害復旧事業費	0	0.0%	0	0.0%	0	-
	小 計	64,222	16.7%	47,646	13.1%	16,576	34.8%
そ の 他 の 経 費	物件費	49,285	12.8%	44,946	12.4%	4,339	9.7%
	補助費等	18,819	4.9%	20,890	5.8%	△ 2,071	△9.9%
	繰出金	27,896	7.2%	27,246	7.5%	650	2.4%
	その他	8,678	2.2%	10,066	2.8%	△ 1,388	△13.8%
	小 計	104,678	27.1%	103,148	28.5%	1,530	1.5%
合 計		385,575	100.0%	362,280	100.0%	23,295	6.4%

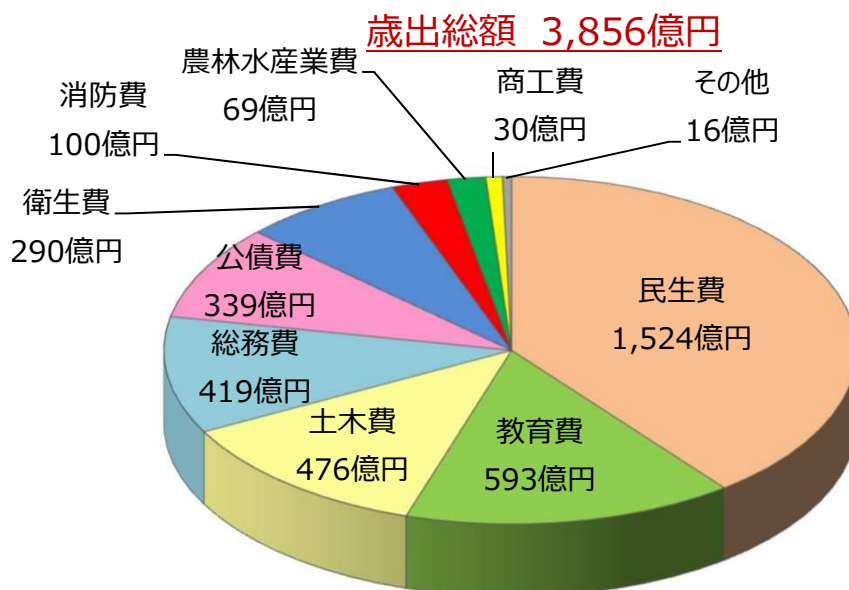


(3) 歳出予算(案)[目的別]の内訳

- 総務費は、新庁舎整備事業費や市民会館解体費の増加などにより
対前年度比で 119億円の増(+39.6%)
- 民生費は、障害者自立支援関係費や子どものための教育・保育給付費の増加などにより
同 63億円の増(+4.3%)
- 教育費は、学校特別教室への空調整備や公会計化による学校給食費管理運営費の増加などにより
同 102億円の増(+20.8%)
- 衛生費は、新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業の減少などにより
同 37億円の減(△11.4%)

(単位:百万円)

款別	令和6年度	構成比	令和5年度	構成比	増減額	対前年度比
民生費	152,408	39.5%	146,134	40.3%	6,274	4.3%
教育費	59,323	15.4%	49,128	13.6%	10,195	20.8%
土木費	47,593	12.3%	47,448	13.1%	145	0.3%
総務費	41,893	10.8%	30,014	8.3%	11,879	39.6%
公債費	33,903	8.8%	34,972	9.6%	△ 1,069	△3.1%
衛生費	28,971	7.5%	32,687	9.0%	△ 3,716	△11.4%
消防費	9,968	2.6%	9,468	2.6%	500	5.3%
農林水産業費	6,894	1.8%	7,097	2.0%	△ 203	△2.9%
商工費	2,978	0.8%	3,703	1.0%	△ 725	△19.6%
その他	1,644	0.5%	1,629	0.5%	15	0.9%
合計	385,575	100.0%	362,280	100.0%	23,295	6.4%



4 健全な財政運営

(1) 基金残高・基金取崩額の推移

- 令和6年度は、コロナ・物価高騰対策が一段落したものの、新庁舎をはじめとした施設整備や、子ども医療費助成の拡充などの扶助費の増加などにより歳出が大きく増加する中、有利な起債の活用をはじめとした財源確保などにより、財源調整のための基金からの取崩しは前年度比20億円減の70億円にとどめ、コロナ禍前の水準に戻すことができました。今後も物価高騰の状況が見通せないなか、あらゆる事態における迅速かつ機動的な対応への備えとして、前年度の決算剰余の積み立てにより基金の残高を前年度と同額程度に維持し、不足する財源の確保に努めています。

○当初予算編成時点の基金残高

(単位:百万円)

区 分	R2 当初	R3 当初	R4 当初	R5 当初	R6 当初
財政調整基金	14,568	14,935	15,867	15,954	16,132
市債調整基金	1,520	1,546	1,576	1,613	1,673
公共施設等整備基金	12,865	12,861	11,866	11,845	11,823
3基金合計	28,953	29,342	29,309	29,412	29,628

(注) 市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの。

○当初予算編成時点の基金取崩額

(単位:百万円)

区 分	R2 当初	R3 当初	R4 当初	R5 当初	R6 当初
財政調整基金	5,000	5,000	5,000	7,000	5,000
市債調整基金	0	0	0	0	0
公共施設等整備基金	2,000	2,000	3,000	2,000	2,000
3基金合計	7,000	7,000	8,000	9,000	7,000

○主な特定目的基金の取崩額

- ・ 庁舎整備基金 1,208百万円
- ・ 地域福祉基金 522百万円

(2) 市債残高の推移

■ 一般会計の市債残高のうち、

臨時財政対策債等の残高は、1,626億円で前年度より96億円減少しています。これは、財政収支の不足額を補填する臨時財政対策債の発行額が近年減少していることなどによるものです。

通常債残高(※1)は、1,926億円で前年度より173億円増加しています。

新庁舎整備や学校特別教室への空調整備、可燃ごみ広域処理施設整備、幼保一体化施設整備など、喫緊の課題への対応を着実に進める一方で、合併推進債や緊急防災・減災事業債などの交付税算入率が高く財政的に有利な市債を活用することで、交付税算入がない市債と比較して、177億円の縮減(※2)を図るなど、将来の財政負担を抑制しています。

※1通常債 … 元利償還金の全額が地方交付税に算入されるものを除いた実質的な市債のこと。

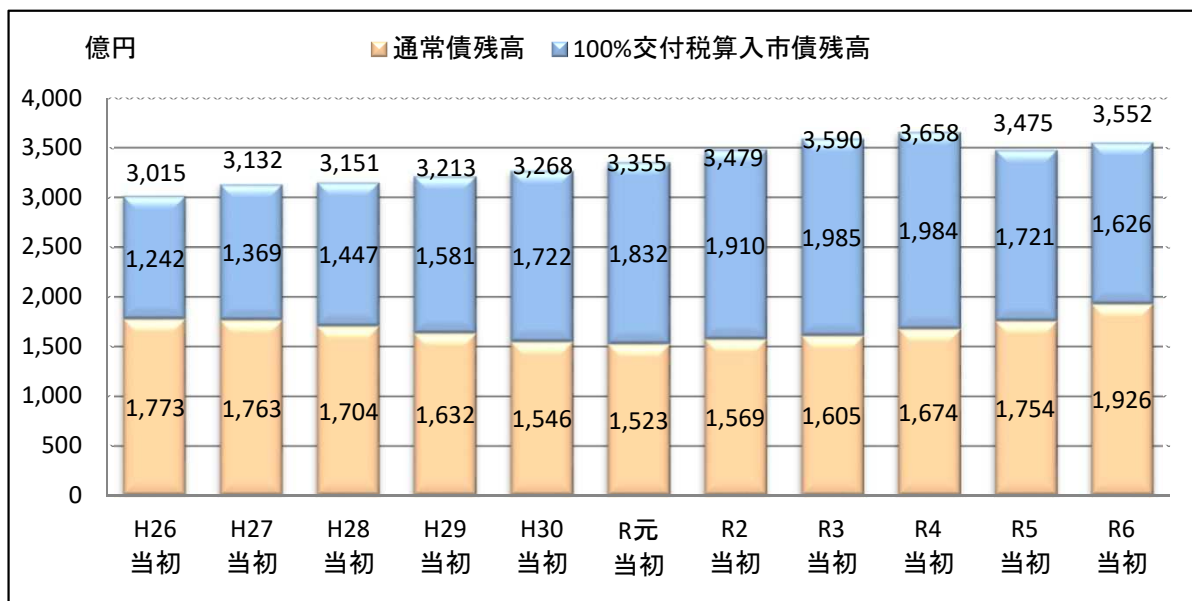
※2縮減額 … 交付税算入率の高い有利な市債を活用したことによる後年度の交付税算入額

(単位: 百万円)

区分	R2 当初	R3 当初	R4 当初	R5 当初	R6 当初	増減額 R6-R5
元金償還金	(19,108) 30,668	(19,024) 32,079	(18,018) 31,843	(18,759) 32,655	(18,668) 31,572	(△91) △1,083
借入額	45,540	51,172	43,546	34,725	46,608	11,883
年度末残高	(156,859) 347,903	(160,477) 358,993	(167,387) 365,827	(175,325) 347,450	(192,638) 355,156	(17,313) 7,706

(注1) ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

(注2) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。



(3) 行財政改革の推進

■ 市民福祉の向上と活力ある都市づくりを進めるため、健全で持続可能な財政運営を行うとともに、行政のスマート化や公民連携などの行政改革にも取り組んでいます。

健全で持続可能な財政運営

- 決算額を踏まえた経常的経費の予算額の見直し
- 歳入の確保
 - ・ふるさと納税の推進 等

令和5年度
経常的経費の予算額の見直し額
約12億49百万円

公共施設等のマネジメントの推進

- 複合化・多機能化等による施設配置の最適化など、公共施設の維持・管理等の効率化
- 安全・安心で快適な市民サービスの確保
 - ・施設の計画的な長寿命化や市有未利用地の売却等

令和5年度 未利用地売却額
約37百万円 (令和5年12月末現在)

行政のスマート化

行政手続きのオンライン化やデジタル技術の積極的な活用等を通じて、市民サービスの向上と業務の効率化を図っていきます。

- 岡山市役所公式LINEに道路公園損傷通報機能や学校への欠席連絡機能を追加
- クレジットカード・インターネットバンキング等で市税の納付が可能に
- AIやRPAなどのデジタル技術の積極的活用
 - ※1 ※2



岡山市役所公式LINEの画面

令和5年度時点で約3割の課が活用
年間約18,000時間の業務削減

- ※1 AI (アーティフィシャルインテリジェンス) : 人工知能のこと
- ※2 RPA (ロボティックプロセスオートメーション) : 人間が行ってきた作業をソフトウェアのロボットで自動化すること

組織力の向上

- 政策実現のためのメリハリのある職員の再配置
- 働き方改革により職員のワークライフバランスを実現

公民連携と透明性の高い市政運営

- PPA・PFIの手法を活用した公民連携の推進
- 岡山市の取組をトコトン分かりやすく情報発信するプロジェクト「わかるかわる岡山市」の実施



ワカル君とカワル先生が発信するスペシャル動画

(4) デジタル・トランスフォーメーション(DX)の推進

地域経済の発展と市民一人ひとりの幸せを実現していくため、①地域社会のDX、②市民サービスの向上、③行政事務の効率化の3つの施策分野を掲げる中で、DXによる「住みやすく躍動感のある」まちづくりを実現していきます。

デジタル化関連事業予算 約29億92百万円

① 地域社会のDX

デジタル技術の活用で地域産業の生産性向上につなげるほか、教育、健康福祉、防災等の分野でも幅広く活用して安心して快適な生活を実現します。

- ◆中小企業デジタル化推進事業 96百万円
- ◆スタートアップ支援事業 120百万円
- ◆スマート農業推進モデル事業 6百万円
- ◆デジタル技術を活用した観光誘客事業 16百万円
- ◆オープンデータの推進 424百万円
(都市計画,道路関連等)
- ◆GIGAスクール構想の推進 461百万円
(デジタルAIドリル等)
- ◆アプリを活用した健康的な生活習慣推進事業 73百万円 など



② 市民サービスの向上

市民の利便性向上につながる行政手続きのオンライン化を推進するとともに、窓口での手続きも市民が「書かない・待たない」窓口を目指します。

- ◆新庁舎に向けたスマート窓口の推進 103百万円
- ◆公共施設のオンライン予約の推進 27百万円
- ◆行政手続きのオンライン化 37百万円
- ◆口座振替のWeb申し込みの拡大 10百万円 など
(学校給食費,保育料,国保料等)



③ 行政事務の効率化

全庁的なBPR(業務改革)を実施してAI・RPAの導入を推進するほか、情報システムの標準化、働き方改革等を着実に前に進めます。

- ◆業務量調査に基づく業務改革の推進 27百万円
- ◆ICT技術の活用による業務効率化 48百万円
(生成AI,RPA等)
- ◆情報システムの標準化 925百万円
- ◆デジタル採点システムの導入による業務効率化 6百万円 など



5 主要な施策・事業

将来都市像 I

中四国をリードし、活力と創造性あふれる「経済・交流都市」

1 地域経済の活性化による、魅力と活力あふれるまちづくり

R6予算額 ()書きは一般財源

● 企業の新規事業創出強化パッケージ 9百万円(9百万円)

新規

企業の新たな「事業の柱」の創出を伴走支援することにより、市内産業の持続的な発展を目指します。

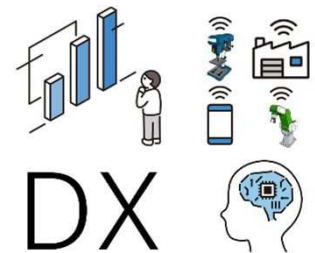
- ・新規事業創出基礎支援
- ・オープンイノベーション活用支援



● 中小企業デジタル化推進事業 96百万円(96百万円)

中小製造事業者等の大きな課題である「人手・人材不足」「労働生産性向上」に対応するため、IoT・AI等先端技術の導入支援等を行い、デジタル化やDXを促進します。

- ・IoT・AI等先端技術導入支援事業
- ・IT利活用支援事業
- ・クラウドサービス等導入支援事業
- ・DX推進マッチング事業



● 中小企業事業成長力強化支援事業 1億9百万円(1億9百万円)

拡充

中小企業の生産性向上・競争力強化を図るため、省人化や省力化等への設備投資にグリーン枠を新設します。また、円滑な事業承継を実現するため、支援人材の育成、潜在的ニーズの発掘、民間のM&Aマッチングプラットフォーム等を活用した成約までの伴走支援に取り組みます。

- ・中小企業設備投資等支援事業(グリーン枠を新設)【拡充】
- ・事業承継・M&A支援事業【新規】



● スタートアップ支援事業 1億20百万円(61百万円)

拡充



岡山市の経済成長の担い手として期待されるスタートアップへの支援メニューを強化し、スタートアップが創出され、成長が促進される環境づくりを、ももたろう・スタートアップカフェ(ももスタ)で取り組みます。

- ・スタートアップ支援拠点「ももスタ」を運営【拡充】
- ・スタートアップ支援事業
- ・GovTech Challenge OKAYAMAの実施 等

● 企業立地推進事業 2億85百万円(2億85百万円)

地域経済の活性化や雇用の創出を図るため、製造工場、物流施設、本社・中四国支店、IT・デジタルコンテンツ産業等の誘致や、市内既存工場の再投資・拠点強化を促進します。

- ・企業立地促進奨励金
- ・物流施設誘致促進奨励金 等



● 雇用対策等事業 51百万円(28百万円)

拡充

市内中小企業等の人材確保を支援することで、企業活動の活性化を促進します。

- ・就職氷河期世代の就職を支援
- ・新規学卒者等を対象とした合同企業説明会を開催
- ・外国人留学生と市内企業のマッチングイベント【新規】 等

● 歩いて楽しいまちなかの回遊性向上と賑わいづくり

1億5百万円(94百万円)



まちなかの回遊性向上や賑わいづくりに向け、官民連携による公共空間活用の推進、旭川を中心とした賑わいの拠点づくりに取り組みます。

- ・歩いて楽しいまちなかの空間創出
- ・緑のボリュームアップ
- ・旭川かわまちづくり
- ・西川魅力賑わい創出

● 岡山駅前広場への路面電車乗り入れ整備事業

拡充

33億8百万円(3億円)

まちなかの魅力向上や賑わい創出を図ることを目的に、回遊性の向上、ひいては中心市街地の活性化に資するよう、公共交通の利便性向上を進めます。岡山駅前広場への路面電車の乗り入れは、利便性向上や中心市街地での回遊性向上につながります。

- ・駅前広場一般車ゾーン工事
- ・公共交通案内所、長庇整備【拡充】 等



新規

● 路面電車のネットワーク化 20百万円(10百万円)



岡山芸術創造劇場ハレノワの開館等の土地利用の変化を踏まえ、中心市街地における更なる移動の円滑化を図るため策定した「岡山市路面電車ネットワーク計画」に基づき、ネットワーク化に取り組みます。

・路面電車の延伸・環状化に係る事業計画作成へ向けた検討

拡充

● 商店街等の魅力向上・活性化支援事業 1億4百万円(52百万円)

商店街や商業集積エリアの魅力向上・活性化のため、賑わいづくりや老朽化したアーケード等施設整備等への補助と併せて、未活用店舗対策や新たな担い手の創出・育成を支援します。

- ・商店街等の魅力向上・活性化に必要な経費について補助
- ・未活用店舗の調査及び課題解決支援・リノベーション費用補助【新規】
- ・商業者育成塾の開催【新規】
- ・商店街応援協力隊の導入【新規】



● 市街地再開発事業の促進 46億78百万円(2億3百万円)

駐車場等の低未利用地が多く分散している中心市街地において、土地の高度利用と都市機能の更新を進めるため、市街地再開発事業によって民間活力を後押しし、高次都市機能や居住機能の充実・強化を図ります。

- ・再開発事業対象地区
駅前町一丁目2番3番4番地区 ほか4地区



拡充

● 活力ある農業の振興 1億82百万円(51百万円)

新規就農者や意欲ある農業者への支援を行うとともに、農産物のブランド化を進め、持続可能で儲かる農業に向けた基盤づくりや競争力の強化を推進します。

- ・きめ細やかな新規就農サポート体制による支援
- ・経営改善に取り組む意欲ある農業者への支援
- ・農産物のブランド化に向けた取組
- ・環境保全型農業の推進【拡充】



拡充

● 有害鳥獣による農作物被害等への対策(イノシシ等)

1億円(64百万円)

有害鳥獣被害軽減のため、地域ぐるみでの効果的な対策を目指した専門家等による支援を実施するとともに、侵入防止柵設置助成、捕獲柵(檻)設置助成、捕獲活動を行う駆除班の活動支援、捕獲に対する助成を行い、総合的な対策を図ります。

- ・野生鳥獣被害実態調査の実施
- ・捕獲活動や被害防止対策への助成【拡充】等

拡充

● 観光資源をいかした観光振興事業 6億7百万円(1億64百万円)

歴史や文化財をはじめとした観光資源をいかし、ソフト・ハード事業を実施することで、観光誘客を図るとともに、観光客や市民に本市の歴史遺産などの価値や魅力を伝えていきます。

- ・「歴史を伝える城、集う城」岡山城活用事業【拡充】
- ・歴史遺産等を活用した観光誘客事業【拡充】
- ・日本遺産活用推進事業【拡充】
- ・各エリアにおける観光施設整備等(西大寺観音院トイレ等)【拡充】



拡充

● 日本遺産活用推進事業(再掲) 1億74百万円(25百万円)

日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」及び追加申請予定の日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の構成文化財等を活用して地域の活性化、観光誘客等を図ります。

- ・日本遺産「桃太郎伝説の生まれたまち おかやま」推進事業
- ・史跡造山古墳群保存整備事業
- ・日本遺産「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」の追加認定に向けた事務手続き業務等【拡充】



● インバウンド誘客促進事業 69百万円(69百万円)

インバウンドが急速な回復をしており、2025年に大阪・関西万博が開催されることから、岡山への誘客促進に取り組みます。

- ・個人旅行者に対するアプローチ【拡充】
- ・2025年大阪・関西万博を意識したプロモーション
- ・外国語版観光パンフレットの改訂



● 移住定住促進事業 95百万円(84百万円)

移住・定住希望者に対し、ニーズに沿ったきめ細やかな情報の提供体制や移住相談・支援、移住後の支援体制の充実を図ります。

県や連携中枢都市圏域の市町と連携し、本市への移住・定住を促進します。

- ・移住支援に関する情報発信
- ・おかやまぐらし相談センターの運営
- ・東京圏からの移住費補助 等



2 コンパクトでネットワーク化された快適で多様なまちづくり

R6予算額 ()書きは一般財源

● 地域の未来づくり推進事業 1億62百万円(1百万円)

地域住民をはじめ、NPO法人や企業等の多様な主体による、地域活力の創出や生活サービスの維持を目指し、持続可能な「コミュニティビジネス」の創出など、様々な地域課題の解決に取り組む活動を支援します。

- ・専門家やアドバイザーの派遣による活動計画づくりへの支援や担い手の育成
- ・地域の未来づくり推進事業補助金 等



● 地域おこし協力隊事業 58百万円(58百万円)

拡充

人口減少・高齢化の進行により、地域活動を担う人材不足が懸念されていることから、「地域おこし協力隊」制度を活用し、三大都市圏をはじめとする都市地域から新たな人材を受け入れ、地域の活性化や課題解決の取組を促進します。



● 公共交通高齢者・障害者運賃割引事業 5億65百万円(3億8百万円)

人口減少や高齢化が進行するなか、公共交通の必要性は高くなっており、高齢者等の日常生活を支える移動手段の確保が大きな課題となっていることから、自動車を運転できない高齢者や障害者の公共交通利用促進のため運賃割引を行います。



● 交通結節機能強化(高島駅・上道駅) 3億83百万円(55百万円)

乗降客数が多い駅にもかかわらず、駅前広場やエレベーターが未整備である駅について、駅前広場を整備することやエレベーターを設置することで利便性及び安全性を向上させ、交通結節機能の強化を図っていくことで、人や公共交通中心の社会への移行を目指します。



● 新たな生活交通の確保事業 25百万円(25百万円)

人口減少や高齢化が進展するなか、公共交通不便地域において、高齢者等の日常生活を支える移動手段として、新たな生活交通を確保する取組を支援します。

- ・本格運行(6地区) 牧石地域牧山地区
上道地域城東台・草ヶ部地区 ほか
- ・試験運行(3地区) 津高地域横井地区、山南地域朝日地区、
山南地域幸島地区



● 自転車先進都市の推進 2億10百万円(1億67百万円)

「岡山市自転車活用推進計画」に基づき、誰もが自転車を“安全”で“快適”に“楽しく”使うことができる都市『自転車先進都市おかやま』の実現を目指し、各種自転車施策を推進します。

- ・自転車通行空間整備事業
- ・自転車駐車場整備事業
- ・コミュニティサイクル事業
- ・サイクリングルート事業
- ・自転車ルール・マナー関係事業



● 道路ネットワークの充実・強化 37億14百万円(2億1百万円)



中心市街地への流出入交通を適切に分散・誘導し、渋滞解消・交通混雑の緩和に資する外環状線・中環状線の整備や、企業立地・物流等の経済活動、観光コンベンション等の広域交流を促進する環境を整えるため、高速道路等へのアクセス強化を引き続き重点的に取り組みます。

- ・(都)下中野平井線 等

● 緑のボリュームアップ(再掲) 27百万円(27百万円)

歩きたくなるまちなかづくりを推進するため、街路樹や公園樹木の質、ボリュームを向上させる取組を実施します。

- ・中心市街地の街路樹再生に向けた取組
- ・街路樹再生プログラム(第2期)における街路樹更新についての検討



● 快適な住環境整備 11億16百万円(60百万円)



「岡山市住生活基本計画」に基づき、人口減少や少子高齢化に伴う居住ニーズの変化を把握しつつ、市営住宅の適切な管理の推進など住宅の確保に特に配慮を要する者の居住の安定の確保に取り組むとともに、総合的な空家対策の推進等、既存住宅ストックの活用促進及び良質な住宅ストックの形成を図ります。

・空家等適正管理支援事業 等

● 瀬戸内市新火葬場整備事業 2億45百万円(25百万円)

将来の火葬需要への対応と災害時等のリスク分散を図るため、瀬戸内市との広域的な連携による火葬場の整備を進めます。



3 歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり

R6予算額 ()書きは一般財源

拡充

● 「歴史を伝える城、集う城」岡山城活用事業(再掲)

1億77百万円(1億12百万円)

令和の大改修を終えた岡山城一帯において、「歴史を伝える城、集う城」のコンセプトを体現する事業を実施し、観光誘客による賑わい創出を図るとともに、岡山のまちの礎を築いた戦国宇喜多家の人物に焦点を当てた事業を展開します。

また、城郭施設の歴史的環境整備や石垣破損箇所等の保存修理を行い、史跡本来の姿を復元整備していきます。

- ・岡山城一帯でイベント等を開催し、「集う城」を体現
- ・戦国宇喜多家の大河ドラマ誘致を目指すとともに、地元の誇りを醸成し、先人たちの魅力を全国に発信【拡充】
- ・史跡岡山城跡保存整備事業



● 歴史遺産等を活用した観光誘客事業(再掲) 29百万円(16百万円)

拡充

岡山市の歴史・文化遺産の魅力及びその価値やエピソードなどを観光的な視点を踏まえてわかりやすく発信し、観光誘客を図ります。

- ・AR(拡張現実)を活用した周遊促進【拡充】
- ・レキタビにストーリーを追加【拡充】
- ・新たな倭国論(古墳時代における吉備と大和の二頭政治)のPR【拡充】
- ・史跡万富東大寺瓦窯跡整備事業



● 岡山城西の丸周辺広場整備推進事業 10百万円(10百万円)

まちなかの魅力と賑わい、回遊性の向上を図るため、岡山城西の丸の周辺整備を推進します。

- ・西の丸周辺(旧内山下小学校跡地、岡山市民会館、旧NHK岡山放送会館跡地)の測量
- ・隣接する石山公園の再整備計画の検討



拡充

● 文学によるまちづくり推進事業 38百万円(35百万円)

ユネスコ創造都市ネットワーク(文学分野)への加盟をいかして、国内外の都市との交流を盛んにし、先人の作品・歴史風土に目を向けるとともに創造活動の活発化を促し、「歴史と文化が薫り、誇りと一体感の持てるまちづくり」を推進します。

- ・市民の郷土の文化に対する誇りや愛着の醸成【拡充】
- ・国内外への情報発信【拡充】
- ・坪田譲治文学賞 等



文学創造都市 おかやま

● おかやまマラソン 81百万円(81百万円)



「おかやまマラソン2024」を、市民・県民総参加のもとで「走る」「みる」「支える」大会として開催します。また、大会の開催を通じ、岡山市及び岡山県の魅力を発信し、観光誘客や産業振興につなげることで、地域の活性化を図ります。

拡充

● 国民スポーツ大会冬季大会 68百万円(39百万円)

西日本初の開催となる第79回国民スポーツ大会冬季大会スケート競技会・アイスホッケー競技会を開催し、本市における競技力の向上及び冬季スポーツへの関心の向上につなげます。

- ・会期 令和7年1月26日(日)～2月5日(水)
- ・岡山市での実施競技 アイスホッケー、ショートトラック



拡充

● 全国高等学校総合体育大会(インターハイ)の開催準備

2百万円(2百万円)



令和7年7月から8月に中国5県で開催される全国高等学校総合体育大会開催競技のうち、本市が会場となるバレーボール(女子)、バスケットボール、柔道競技について大会開催準備を進め、大会開催に向けた機運醸成を図ります。

4 安心して子育てができ、若者や女性が輝くまちづくり

R6予算額 ()書きは一般財源

拡充

● 児童手当の拡充 119億68百万円(18億47百万円)

次代を担う全ての子どもの育ちを支える基礎的な経済支援として、令和6年12月支給分から児童手当の拡充を行います。

- ・所得制限を撤廃
- ・対象者を高校生年代までに拡充
- ・第3子以降(多子加算)を拡充 等

● 子育て環境の施設整備推進事業 32億41百万円(7億53百万円)

幼稚園と保育園を一体化し、良質な就学前教育・保育を等しく提供できる子育て環境の確保を図ります。

- ・市立認定こども園整備(7園)
- ・市立施設の民営化に伴う施設整備(3園)



● 保育士確保対策 4億7百万円(2億86百万円)



待機児童の解消及び保育の質の向上のため、喫緊の課題である保育士の確保を推進します。

- ・民間保育士等処遇改善事業
- ・保育士宿舍借り上げ支援事業
- ・保育支援者配置助成事業費補助金
- ・奨学金返済支援事業

● 放課後児童健全育成事業 43億12百万円(10億32百万円)

拡充

保護者が労働等により昼間家庭にいない小学生に対し、授業の終了後や長期休暇中等に適切な遊びと生活の場を与え、児童の健全な育成を図ります。

- ・市立の放課後児童クラブ(67クラブ)の運営
- ・地域等が主体で実施する児童クラブへの助成
- ・児童クラブ施設の整備【拡充】
- ・児童クラブ支援員等の確保【拡充】
- ・民間事業者の支援による受け皿の確保【拡充】



● 産後ケア事業 26百万円(13百万円)

産後の母親の身体的回復と心理的な安定を促進するとともに、母親自身がセルフケア能力を育み、健やかな育児を行えるよう、医療機関や助産所、居宅において、産後の母子に休養の機会を提供し、心身のケアや育児サポート等を行います。

● 出産・子育て応援給付金 5億31百万円(89百万円)

妊娠期から出産・子育てまでの一貫した伴走型の相談支援と一体的に行う経済的支援として、「出産・子育て応援給付金」を支給します。

- ・対象者 市内に住民票のある方で、妊娠又は出生の届出をした方
- ・支給額 妊婦1人あたり 5万円
子ども1人あたり 5万円



● 子ども医療費助成事業 33億98百万円(28億98百万円)

子どもの医療費の全部又は一部を支給し、子どもの健康の保持及び増進に寄与するとともに児童福祉の向上を図ります。

- ・乳幼児、小学生の通院及び入院医療費を全額助成(自己負担 無料)
 - ・中学生、高校生の通院医療費を一部助成(自己負担 1割)
 - ・中学生、高校生の入院医療費を全額助成(自己負担 無料)
- ※高校生とは、在学の有無に関わらず18歳に達した日以後の最初の3月31日までの者

● 困難を抱える子どもとその家庭への支援

拡充

10億83百万円(9億81百万円)

子どもの将来が、貧困などその生まれ育った環境に左右されることのないよう、また、困難が世代を越えて連鎖することのないよう、必要な環境整備を図ります。

- ・子どもの学習サポート事業
- ・子どもの居場所づくり促進事業
- ・岡山市奨学金給付事業
- ・養育費履行確保支援事業
- ・就学援助費等支給事業【拡充】
- ・子どもの貧困対策推進プラン策定



● **就学援助制度の対象者の拡大(再掲) 8億97百万円(8億44百万円)**

就学援助制度について、現在の国公立小・中・義務教育学校及び中等教育学校(前期課程)に加えて、新たに私立学校に在籍する児童生徒の保護者を支給対象とします。

● **児童虐待防止の推進 86百万円(41百万円)**

児童虐待予防・早期発見に向けた取組を推進します。

- ・SNS活用相談支援事業
- ・虐待通告等電話相談受付事業
- ・子育て世帯訪問支援事業
- ・子育て家庭見守りサポート体制構築事業 等

● **女性が輝くまちづくり事業 15百万円(6百万円)**



女性の力が社会の中で最大限に発揮できる環境づくりを進めるため、性別等にかかわらず市民一人ひとりの個性が社会のあらゆる場面でいかされる男女共同参画社会の実現に向けた取組等に加え、女性の活躍を応援する取組を進めます。

- ・企業向け女性活躍シンポジウムの開催
- ・女性活躍に向けたセミナーの開催
- ・困難を抱える女性への支援 等

● **学生イノベーションチャレンジ推進プロジェクト 7百万円(7百万円)**

大学生の人口比率が高い本市の強みをいかして、大学生等が、新たな商品やサービス等の開発を目指すスモールビジネスや地域課題の解決を目指すソーシャルビジネスにチャレンジする取組を支援し、地域づくりの次代を担う人材が地域に住み続け、活躍するまちづくりを目指します。

- ・活動経費補助
- ・中間報告会や活動報告会の実施



5 つながる教育で未来を拓く人材を育むまちづくり

R6予算額 ()書きは一般財源

● 魅力ある授業づくり推進事業 2億66百万円(2億42百万円)

学力調査や質問紙調査を効果的に活用して、学習指導と生徒指導の両面から児童生徒を理解し、よりよい授業づくりを進めることで、第2期岡山市教育大綱で目指す「5つの力」を育成します。

- ・学びづくり推進プロジェクト
- ・英語教育推進事業



● 問題行動等の防止及び解決に向けた総合支援事業

4億75百万円(4億29百万円)

子どもたちが安心して学校生活を送れるように、支援を必要とする子どもやその保護者に対して、相談や援助を行います。

- ・生徒指導関係事業
- ・特別支援教育支援員配置事業
- ・不登校児童生徒支援員配置事業
- ・スクールカウンセラー配置事業



● 魅力ある教員の確保事業 11百万円(11百万円)

教員採用試験において志願者が減少しているなか、教員の魅力などの広報の充実と採用試験の見直しにより志願者数を増やし、更なる良い人材の確保を図ります。



● 学校業務アシスト事業 1億8百万円(73百万円)

教員の業務の一部を軽減することで、教員が本来の専門性をいかした業務に専念できるとともに、子どもと向き合う時間を確保し、教育環境の向上を図ります。

● **部活動地域移行モデル事業 20百万円(17百万円)**



将来にわたって、子どもたちがスポーツ・文化芸術に継続して親しむことのできる機会を確保します。また、学校における働き方改革も推進します。

- ・部活動指導員配置
 - ・部活動地域移行モデル事業の実施【拡充】
- 指導者派遣モデル事業だけでなく、地域クラブモデル事業等を新たに実施

● **学校給食費管理運営事業 35億83百万円(68百万円)**

教職員が本来の専門性をいかし、子ども一人ひとりと向き合う時間等を確保するため、学校給食費について、教育委員会が保護者から直接徴収する方法に変更します。



● **学校特別教室空調設備整備事業 49億78百万円(0百万円)**

近年の異常気象・異常高温への対策として、児童生徒及び教職員の健康面に配慮するとともに、より授業に集中できる学習環境及び職場環境の改善を目的に、小中学校の特別教室へ空調設備を整備します。



● **学校給食施設再整備事業 1億78百万円(31百万円)**

将来にわたって安全で安心な学校給食を安定的・継続的に提供するため、学校給食施設の再整備を推進します。

- ・新岡山学校給食センター(仮称)整備事業
- ・建部学校給食センター安全対策事業
- ・学校給食施設再整備計画策定



● GIGAスクール構想によるICT活用支援事業

4億54百万円(4億39百万円)



GIGAスクール構想で1人1台端末を配備している学校に対して、ICTの更なる活用を促進するための運用支援や人的支援を行います。

- ・デジタルAIドリルと授業支援ソフトの導入【拡充】
- ・学校のICT活用をサポートする体制の強化

● 新教育研究研修センター(仮称)整備事業 47百万円(19百万円)

子どもたちの成長を支える教職員の資質向上に資する教育研究研修センターの整備を図ります。



これらのイメージ図は、プロポーザル時点の案であり、今後変更の可能性があります。

● 夜間中学設立事業 67百万円(19百万円)

義務教育を受けることができなかった方に対する学ぶ機会の保障に取り組みます。

「夜間教室」を実施した経験を踏まえ、学び直しを希望する方のニーズを把握したうえで、令和7年度の「夜間中学」の開設に向けて準備を進めます。

● 岡山中央中学校区公民館(仮称)整備事業 11億59百万円(95百万円)

旭公民館が老朽化し、未耐震のため、岡山中央中学校武道場との複合化による新たな公民館整備を実施します。

- ・令和7年度開館予定



6 理解を深め合い、ともに築く市民主体のまちづくり

R6予算額 ()書きは一般財源

● SDGs未来都市・岡山ESDプロジェクト推進事業 33百万円(33百万円)

持続可能な社会づくりを目指し、SDGsの理解促進と新たな実践行動につなぐため、SDGsの学びの場や機会を設けます。また、ESDの啓発活動や活動団体の支援によりESD活動の拡大と質の向上に取り組み、ESDを推進することでSDGsの達成に貢献します。

- ・SDGs未来都市推進事業
- ・岡山ESDプロジェクト推進事業



● 区のまちづくりの推進 14百万円(14百万円)

身近なまちづくりを推進するために、区民と行政が協働しながら、地域課題の解決に取り組みます。また、それぞれの区の地域資源や特色をいかした魅力発信を行います。

- ・北区 北区の魅力・情報発信事業
公民館を活用した講座等の実施による防犯等対策事業
- ・中区 区内の大学と区役所の包括連携による地域づくり事業
中区の魅力発見・発信事業
- ・東区 東区の地域連携強化事業
- ・南区 南区地域防災力強化事業
南区地域の絆づくり事業



● 窓口多言語サービス対応支援事業 3百万円(1百万円)

新規

行政窓口における職員と外国人市民とのコミュニケーションを支援するため、今後増加が見込まれる外国人市民の窓口相談や諸手続き等に対応します。

- ・15言語でビデオ通話が可能なタブレットを外国人総合相談窓口等に配置 等



● 外国人市民と地域がつながる災害対応スキルアップ事業

新規

1百万円(0百万円)



外国人市民が地域の中での自主防災の取組を学ぶ場を設けることで、顔の見える関係づくりを進めるとともに、「共助」の意識啓発に取り組みます。

7 住み慣れた地域で安心して暮らせる健康・福祉のまちづくり

R6予算額 ()書きは一般財源

拡充

● 健康寿命延伸事業 81百万円(30百万円)

運動、栄養・食生活、社会参加の改善・促進など、健康的な生活習慣の普及・定着を通して、市民の健康寿命の延伸を目指します。

- ・OKAYAMA ハレ活 プロジェクト
- ・ベジファーストOKAYAMAプロジェクト【新規】



拡充

● がん患者アピアランスサポート事業 9百万円(5百万円)

がん治療に伴うアピアランス(外見)の変化に悩む方に対し、ウィッグ等の購入費を補助することで、心理的負担を軽減し、自分らしく社会活動を行えるよう支援します。

- ・補助対象 全頭用ウィッグ、乳房補整具【新規】
- ・補助金額 購入経費の1/2(上限3万円)

● 生涯活躍就労支援事業 32百万円(15百万円)

高齢者等、誰もが地域や社会で役割を持って活躍できる“生涯現役社会”を実現し、市民の健康維持及び自立を推進します。

● フレイル対策事業 8百万円(1百万円)

高齢者が要介護状態に陥ることの予防を目的に、薬局など市民の身近な場所でフレイルチェックを実施し、介護予防の取組につなげます。

- ・薬局など市民の身近な場所でフレイルチェックの機会の提供
- ・フレイルチェックを補助するサポーターの養成 等



拡充

● 介護予防センター事業 1億87百万円(23百万円)

高齢者が要介護状態となることを予防し、地域においてその人らしい自立した生活を継続できるよう支援します。

- ・地域介護予防活動支援事業【拡充】
- ・介護予防普及啓発事業
- ・地域リハビリテーション活動支援事業



新規

● 支え合い活動の推進 1百万円(0百万円)

外出に課題を抱える高齢者が社会とのつながりを保てるよう、住民互助による移動支援の活動を推進します。

- ・移動支援を実施するボランティア団体に対し、費用を助成
ボランティアが移動支援に使用する車両にかかる自動車保険料
運転に不安のあるボランティアが運転適性診断を受ける費用 等

拡充

● 在宅介護総合特区～AAAシティおかやま～の推進

41百万円(9百万円)

在宅介護に特化した総合特区を推進し、将来負担の抑制・産業振興・地域包括ケアの実現を目指すとともに、超高齢社会における持続可能な社会経済モデルの構築を進めます。

- ・ケアマネインセンティブ事業【新規】
- ・高齢者活躍推進事業
- ・介護機器貸与モデル事業
- ・訪問介護インセンティブ事業 等



● 在宅医療・介護連携推進事業 7百万円(1百万円)

今後、高齢者等が増えることにより、需要の増加が見込まれる在宅医療の推進や在宅看取り等の普及啓発を医療・介護関係者と協働で進めます。

- ・在宅医療介護の地域連携推進ワーキングの実施
- ・地域別在宅看取り等普及啓発事業
- ・ICT情報連携ツール活用推進事業

拡充

● 認知症サポーター活動促進事業(チームオレンジ)

10百万円(2百万円)

認知症の人がどう暮らしていきたいかの「声」を聴いた地域づくりを推進します。

- ・認知症の人やその家族の支援ニーズと、認知症サポーター等の活動をつなぐ仕組みづくり(チームオレンジ)の立ち上げを支援
- ・新たに2福祉区でチームオレンジの立ち上げを支援【拡充】
- ・チームオレンジの活動運営に対する助言

新規

● 認知症伴走型支援事業 3百万円(2百万円)

認知症の進行による状況の変化やそれに悩む人とその家族に寄り添い、地域の人々の生活を応援する伴走型の相談支援の取組を推進します。

- ・伴走型支援拠点をモデル的に整備



新規

● 難聴高齢者に対する補聴器購入費用助成 9百万円(9百万円)

難聴高齢者の補聴器購入に対する費用の一部を助成し、高齢者の補聴器装用を促進するとともに、コミュニケーション能力の維持・向上を図ります。

拡充

● 地域共生社会の推進(重層的支援体制整備事業)(再掲)

18億11百万円(4億26百万円)

複雑化・複合化した課題を抱えた世帯に対して、市の関係課・相談機関が連動して支援を行う総合相談支援体制づくりに加えて、「参加支援」「地域づくりに向けた支援」を一体的に実施することで、地域共生社会の更なる推進を図ります。

- ・包括的相談支援事業
- ・参加支援事業
- ・地域づくりに向けた支援事業【拡充】
- ・アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
- ・多機関協働事業
- ・支援プランの作成



拡充

● 障害者就労支援事業 41百万円(36百万円)

障害者の自立と社会参加の重要な柱となる就労に向けて、障害者とその適性や能力に応じた多様な働き方を選択できるよう、一般就労と職場定着を支援するとともに、一般就労が困難な障害者が働く障害者就労施設における工賃向上を支援します。

- ・障害者を雇用する企業の開拓
- ・働く障害者のための交流拠点事業
- ・お仕事マッチングサイトの開発・利用【新規】等



● 生活困窮者等自立支援事業(再掲) 4億10百万円(1億22百万円)

生活困窮者自立支援法に基づき、経済的に困窮し、最低限度の生活を維持できなくなるおそれのある人を対象に自立に向けた支援を行います。

- ・生活困窮者自立相談支援事業
- ・住居確保給付金の支給
- ・子どもの学習サポート事業(通所型、訪問・遠隔型)等

● 野犬対策事業 38百万円(36百万円)

拡充

野犬の捕獲数増加に伴い、ひっ迫している収容から譲渡までの体制を強化し、「殺処分ゼロ」を継続します。

- ・野犬等の捕獲促進事業及び一時収容施設の体制整備の継続
- ・収容犬の飼養保管から譲渡までの管理費及び事業委託費【拡充】
- ・収容から譲渡までの短期化を図るための犬の人馴れ訓練事業【拡充】
- ・ボランティア支援事業等



8 地域の力をいかした災害に強く安全・安心なまちづくり

R6予算額() 書きは一般財源

● 下水道・河川等による浸水対策事業 23億76百万円(2億7百万円)

平成30年7月豪雨による広範囲の浸水被害を受け、平成31年4月に見直した岡山市浸水対策基本計画及び行動計画に基づき、下水道や河川の整備を進めるとともに、既存ストックを活用した対策や、市民、事業者と連携した総合的な浸水対策に取り組みます。

- ・津島排水区の浸水対策事業
- ・浦安11号幹線(1工区・2工区)雨水管築造工事
- ・山崎地区の河川排水機場建設工事
- ・既存ストックの活用、機能保全強化
- ・雨水流出抑制施設設置、雨水貯留タンク設置、止水板設置の助成 等

二次覆工 着手前



二次覆工 完了



● 新庁舎整備事業 118億18百万円(0百万円)



このイメージパースは実施設計時点のものであり、今後変更の可能性あります。

本庁舎は建設から50年以上が経過し、老朽化が進むとともに、耐震基準も満たしていません。災害対応の中心となる防災拠点として整備するだけでなく、更なる行政サービスの向上と事務の効率化を図るため、建替えによる整備を進めます。
(令和8年度供用開始予定)

- ・新庁舎建設工事
- ・新庁舎家具什器選定及び移転実施計画作成

● 新庁舎周辺施設整備事業 26百万円(12百万円)

新庁舎の周辺施設として、大供公園・広場・駐車場を一体的に整備し、大供周辺に相応しい魅力あるまちづくりに寄与することを目指します。

- ・新庁舎周辺施設整備アドバイザー業務 等

● 道路施設の長寿命化事業 21億74百万円(2億11百万円)

道路施設の老朽化が進み、今後一斉に更新時期を迎える状況を鑑み、定期点検を実施し作成した個別施設の長寿命化修繕計画に基づき計画的に修繕・補修を行うことで、費用を低減・平準化するとともに、道路施設の長寿命化を図ります。

- ・幹線舗装補修(延べ13.7km)
- ・橋梁長寿命化(定期点検:約1840橋、補修設計:28橋、橋梁補修:62橋)

● 用水路等転落防止対策事業 55百万円(55百万円)

用水路等への転落事故がまだ発生しているため、引き続き危険箇所に対する安全対策を進めます。

【対策前】



【対策後】



● 水道施設・管路耐震化等更新事業 82億16百万円(40億78百万円)

市民のライフライン確保という重要な役割を果たすため、水道施設や管路の更新及び災害対策を推進し、安定供給の継続を図ります。

- ・激甚化・頻発化する災害に備えた水道施設・管路の強靱化
- ・水道施設・管路の計画的更新



● 下水道施設の耐震化・再構築(リノベーション)事業

25億81百万円(1億57百万円)

市民生活に重大な影響を及ぼす下水道施設の機能停止等を未然に防止するため、下水道施設の改築更新、耐震化を行います。また、将来の改築事業費の削減等を図るため、施設の統廃合など下水道施設の再構築(リノベーション)を進めます。

- ・岡南ポンプ場、平井排水センター、金岡ポンプ場、笹ヶ瀬ポンプ場の設備更新及び耐震化
- ・緊急輸送道路等のマンホールの浮上防止対策工事
- ・吉備、七区、江西、竜之口小学校に災害時用マンホールトイレを設置
- ・農業集落排水処理施設を公共下水道など近隣の処理区へ統廃合 等

● 地域防災力強化事業 84百万円(50百万円)

自主防災組織を中心とした地域防災活動への支援のほか、被災想定を踏まえた備蓄物資保管場所を確保し、地域の防災力強化を図ります。

- ・自主防災組織等育成事業
- ・備蓄倉庫等整備事業



● 消防署所適正配置事業 4億8百万円(40百万円)

増加する救急需要と多様化する各種災害に的確に対応するため、消防力のバランスに配慮した適正な場所に消防署所を配置及び維持管理し、いついかなる時も、求める人すべてに等しく、より安心で質の高い消防サービスを提供します。

- ・消防局総合計画(消防署所適正配置)及び消防局個別施設計画に基づき、南消防署妹尾出張所を南区妹尾地内に建替整備



● 水難救助訓練施設整備事業 6億61百万円(80百万円)

消防職団員の災害対応力の向上、安定した水難救助訓練環境の確保及び市民の防災意識向上のため、模擬体験可能な風水害体験施設を備えた水難救助訓練施設を整備します。



● 救急隊増隊事業 58百万円(4百万円)

新規

高齢化の進展等により年々増加する救急需要に対応するため、北消防署番町分署に救急隊を増隊し、救急体制の強化を図ります。

- ・高規格救急自動車、救急資機材等の購入
- ・北消防署番町分署の庁舎改修 等



9 豊かな自然と調和した市民の手による持続可能なまちづくり

R6予算額 ()書きは一般財源

● 地球温暖化対策事業 22億52百万円(13億54百万円)

脱炭素社会の実現に向けて、市民や事業者等と連携し、再生可能エネルギーの導入促進や省エネルギーの推進、環境にやさしいライフスタイルや事業活動への転換等に取り組み、温室効果ガスの排出削減を図ります。

- ・プラスチック資源の分別回収・リサイクル
- ・学校給食の食品リサイクル事業
- ・ZEH普及啓発事業
- ・スマートエネルギー導入促進事業補助金 等

● プラスチック資源分別回収・リサイクル事業(再掲)

6億4百万円(6億4百万円)

地球温暖化に伴う気候変動の影響により、自然災害が増加していることから、脱炭素社会の実現に向けて、令和6年3月から、現在、焼却処理しているプラスチック資源の分別回収・リサイクルを実施し、温室効果ガスの排出削減を図ります。

- ・プラスチック資源の分別・排出ルール等の周知啓発
- ・プラスチック資源の分別回収の実施
- ・プラスチック資源の中間処理
- ・プラスチック資源のリサイクル



● ごみ処理広域化処理施設整備・運営事業

22億88百万円(6億73百万円)

老朽化した岡南環境センターを更新し、ダイオキシン類等の削減対策やサーマルリサイクルの促進等を図るため、2市1町の可燃ごみを処理する施設を岡南環境センター敷地に整備し、20年間運営することで、安全・安心で安定的なごみ処理を実現します。

- ・玉野市、久米南町と連携し、岡山市が主体となって可燃ごみ広域処理施設を建設
- ・広域処理施設建設中における岡山市の可燃ごみの一部を市外処理



10 圏域をリードし、都市の持続的発展を支える都市経営

R6予算額 ()書きは一般財源

● スマート窓口事業 1億40百万円(19百万円)

新規

新庁舎開庁に向けて、「行かない」「書かない」「待たない」のコンセプトのもと、市役所での手続きをサポートし、手間の削減・待ち時間の削減に取り組みます。

- ・「行かない」の実現のため、オンライン申請システムを更新
- ・「書かない」「待たない」の実現のためのシステム導入



● 業務改革推進事業 27百万円(27百万円)

岡山市第六次総合計画後期中期計画に掲げるBPR(ビジネス・プロセス・リエンジニアリング)を本格化させ、全庁業務量調査で抽出された課題のある業務のプロセスを1から見直すことにより、職員負担の軽減、人為的ミスの削減、住民サービスの維持・向上等を目指します。

- ・定型的な作業が多い等、課題のある業務を可視化
- ・デジタル技術等による課題解決のモデルを検討

● 公共施設予約システム導入事業 27百万円(27百万円)

拡充

公共施設利用者の利便性向上のため、施設の空き状況等が確認できるシステムを導入し、予約・利用手続きの一元化を図ります。また、施設の利用料について、キャッシュレス決済を導入します。

- ・オンライン予約システムの導入
- ・キャッシュレス決済の導入



● 外部専門人材活用事業 11百万円(11百万円)

企業等の最前線で活躍する高い専門性を持った人材を登用し、既存の行政の考え方や枠組みに捉われない柔軟な発想やアイデアを活用することで、多様化・複雑化する行政課題の解決を図ります。

● 情報発信力強化事業 26百万円(26百万円)

市が進めるまちづくりの目標や課題を市民に理解してもらえるよう、市の施策をわかりやすく発信していきます。

- ・情報発信プロジェクト「わかるかわる岡山市」を実施
- ・市公式LINEのセグメント配信強化



● 岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

181億88百万円(65億60百万円)

人口減少・少子高齢化という課題に対応し、自立した活力ある地域社会を創生するため、「岡山市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に掲げる基本目標の下、具体的施策の着実な推進を図ります。

4つの基本目標及び具体的施策

- | | |
|---|--------------------|
| ■岡山市の強みをいかし、安定した雇用と活力を創出する <ul style="list-style-type: none">・新たな雇用と成長を促す戦略的な産業振興・歴史・文化資源等をいかした観光誘客の促進・活力ある農業の振興・地域の活力を担う人材の育成・確保 | 17億77百万円(15億38百万円) |
| ■岡山市への新しいひとの流れをつくる <ul style="list-style-type: none">・移住・定住の促進・新たな全世代・全員活躍型「生涯活躍のまち」の推進・地元大学等との連携・地方とのつながりの構築 | 1億2百万円(91百万円) |
| ■若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる <ul style="list-style-type: none">・保育所・放課後児童クラブへの入所待機児童の解消・結婚・出産・子育て支援・ワーク・ライフ・バランスと女性の活躍推進 | 91億72百万円(24億66百万円) |
| ■安全・安心に暮らせるまちをつくり、地域と地域を連携する <ul style="list-style-type: none">・コンパクトでネットワーク化された活力あふれるまちづくり・地域連携の推進・健康寿命の延伸と豊富な医療・介護資源をいかした地域づくり・安心に暮らせる地域づくり・地域の課題解決のための持続可能な取組 | 71億37百万円(24億65百万円) |

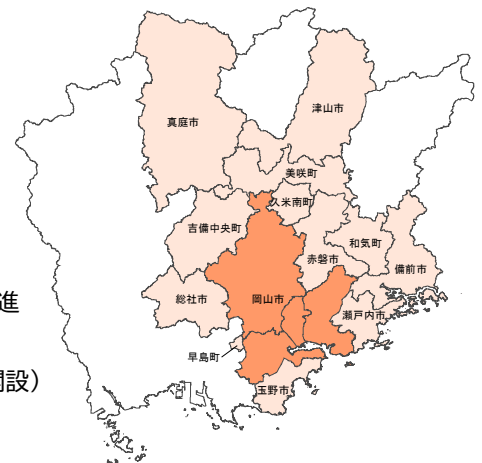
● 岡山連携中枢都市圏ビジョンに基づく連携取組の推進

89億46百万円(11億31百万円)

人口減少・少子高齢社会にあっても地域を活性化し、経済を持続可能なものとし、圏域住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるよう、「岡山連携中枢都市圏ビジョン」に掲げる連携取組の着実な推進を図ります。

令和6年度の連携事業(例)

- スタートアップ企業支援**
 - ・スタートアップ支援拠点「ももスタ」を運営(機能強化)
 - ・拠点で開催されるイベントやスタートアップ支援について情報提供
- 圏域内周遊に向けた観光資源発信**
 - ・瀬戸内エリアへの観光誘客を図るツアー造成事業を実施
 - ・日本遺産を活用したプロモーションの実施
 - ・吉備路周遊バスの継続運行等の観光客受入環境の整備
- JRの利用促進と駅機能強化**
 - ・圏域内外との人やモノの円滑な交流促進に向けた結節機能強化を図るため、岡山駅前広場を整備
- 健康ポイント事業**
 - ・ポイント付与やアプリの共通化などを通して一体的に健康ポイント事業を推進
- 夜間中学設置の検討・準備・運営**
 - ・校舎改修工事及び備品調達を行うとともに生徒募集を開始(令和7年4月開設)



お知らせ

ふるさと納税（岡山市まちづくり人づくり応援寄附金）

○岡山市では市へご寄附いただいた方に、市の特産品等をお届けしています。
○寄附金は「地域経済」「女性・子育て」「防災・安全・安心」などに活用しています。

人気の返礼品



白桃

岡山を代表する白桃をお届けします。白桃ならではのなめらかな口当たり、甘さが特徴です。



マスカット

甘くさわやかな香りがひろがり、その高貴な味わいは果物王国岡山を象徴する特産品です。



岡山みにたると

蒜山ジャージー牛乳で作るクリームとさくさく生地が相性抜群の岡山スイーツです。



ふるさと納税 岡山市 楽天トラベルクーポン
地ビール

これらは返礼品の一例です。
皆様方からのご寄附をお待ちしています！

岡山市へのご寄附はこちら <https://www.city.okayama.jp/kurashi/000004111.html>

※岡山市内にお住まいの方への返礼品贈呈は行っておりません。ご注意ください。 お問い合わせ先：税制課 086-803-1166

お知らせ

企業版ふるさと納税 ～岡山市の地方創生にご協力をお願いします～

【企業版ふるさと納税とは？】

- ・本社が岡山市外にある企業が、対象となる事業に寄附を行うと、税額が控除される制度です。
- ・1事業10万円から寄附が可能で、寄附金額の最大約9割が法人関係税から軽減されます。



ご寄附いただいた企業の皆様は、SDGs等に積極的に取り組む企業として様々な場面でご紹介させていただきます。

(一例) イベントポスターやチラシ



協賛：株式会社〇〇

区役所・岡山駅地下等デジタルサイネージ掲示



協賛：株式会社〇〇

感謝状贈呈式



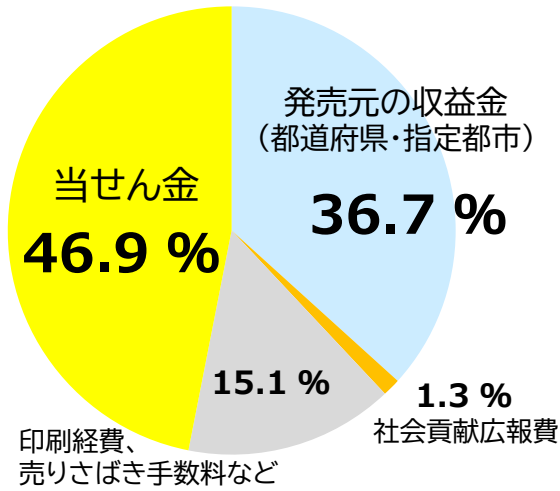

岡山市HP <https://www.city.okayama.jp/shisei/0000016573.html>

お問い合わせ先：政策企画課 086-803-1043

お知らせ

宝くじは身近なまちづくりに役立てられています

ご存じですか？宝くじ一枚の中身



「2023宝くじのしおり」より

宝くじは、岡山県内で買ってね！



クーちゃん

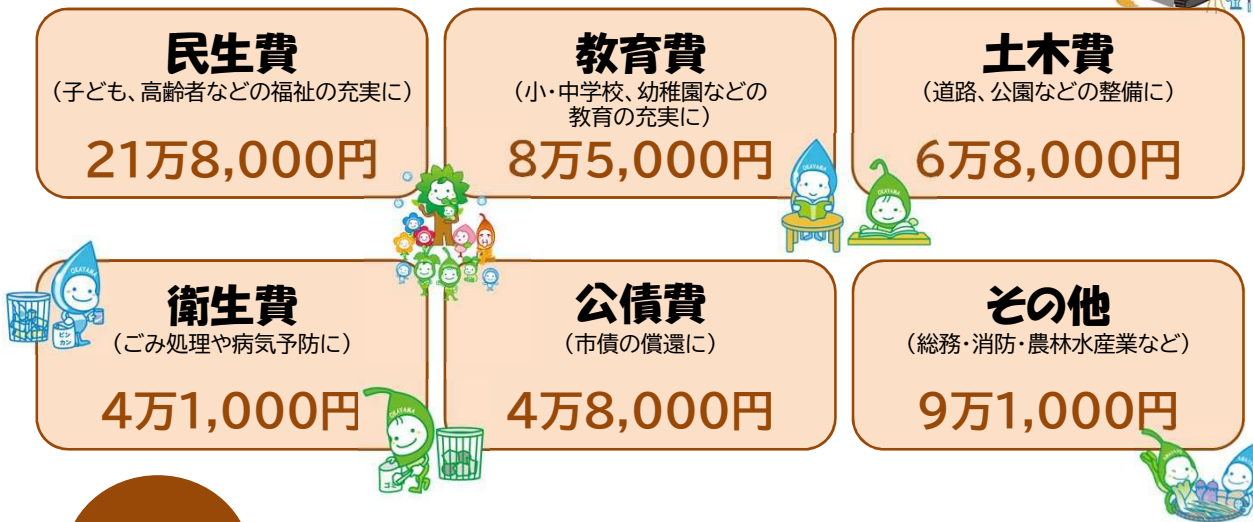
岡山県内で販売された宝くじの収益金は、岡山県及び岡山市の収入になります。収益金は、道路整備などの公共事業のほか、災害対策や子育て支援など、市民のみなさまのくらしに役立てられています。



お知らせ

市民一人当たりの予算額は・・・

一般会計予算(案)を市民 約70万人で割ると



市民一人
当たり

合計 55万1,000円

市民一人当たりの市税
18万9,000円

6 予算編成過程の見える化

(1) 当初予算要求額に対する当初予算額(案)一覧

令和6年1月16日に公表した当初予算要求額に対する当初予算額(案)は以下のとおりです。

I 会計別予算額

(単位:百万円)

区 分	令和6年度 当初要求額 (A)	令和6年度 当初予算額(案) (B)	令和5年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
一 般 会 計	395,556	385,575	362,280	23,295	△ 9,981
特 別 会 計	198,061	198,019	199,197	△ 1,178	△ 42
事 業 会 計	77,511	76,684	76,872	△ 188	△ 827
合 計	671,128	660,278	638,349	21,929	△ 10,850

II 一般会計(款別)予算額

(単位:百万円)

区 分	令和6年度 当初要求額 (A)	令和6年度 当初予算額(案) (B)	令和5年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
議 会 費	1,144	1,142	1,159	△ 17	△ 2
総 務 費	42,312	41,893	30,014	11,879	△ 419
民 生 費	156,411	152,408	146,134	6,274	△ 4,003
衛 生 費	29,307	28,971	32,687	△ 3,716	△ 336
労 働 費	304	302	270	32	△ 2
農林水産業費	7,016	6,894	7,097	△ 203	△ 122
商 工 費	3,069	2,978	3,703	△ 725	△ 91
土 木 費	51,183	47,593	47,448	145	△ 3,590
消 防 費	10,029	9,968	9,468	500	△ 61
教 育 費	60,678	59,323	49,128	10,195	△ 1,355
災 害 復 旧 費	0	0	0	0	0
公 債 費	33,903	33,903	34,972	△ 1,069	0
予 備 費	200	200	200	0	0
合 計	395,556	385,575	362,280	23,295	△ 9,981

Ⅲ 特別会計・事業会計予算額

ア 特別会計予算額

(単位:百万円)

区 分	令和6年度 当初要求額 (A)	令和6年度 当初予算額(案) (B)	令和5年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
国民健康保険費	67,183	67,148	67,814	△ 666	△ 35
用品調達費	46	46	47	△ 1	0
災害遺児教育年金事業費	15	15	15	0	0
公共用地取得事業費	144	144	144	0	0
財産区費	8	8	27	△ 19	0
学童校外事故共済事業費	13	13	13	0	0
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	277	277	227	50	0
介護保険費	70,264	70,257	71,740	△ 1,483	△ 7
後期高齢者医療費	13,086	13,086	11,267	1,819	0
公債費	45,108	45,108	46,130	△ 1,022	0
岡山市立総合医療センター病院事業債	1,917	1,917	1,773	144	0
合 計	198,061	198,019	199,197	△ 1,178	△ 42

○主な増減(対前年当初予算比)

後期高齢者医療費 広域連合への保険料納付金の増 +1,494

介護保険費 保険給付費の減 △1,970

国民健康保険費 国民健康事業費納付金の減 △734

イ 事業会計予算額

(単位:百万円)

区 分	令和6年度 当初要求額 (A)	令和6年度 当初予算額(案) (B)	令和5年度 当初予算額 (C)	増 減 額 (B)-(C)	(参 考) (B)-(A)
病院事業会計	199	199	127	72	0
水道事業会計	26,656	26,262	26,463	△ 201	△ 394
工業用水道事業会計	447	436	326	110	△ 11
市場事業会計	1,226	1,226	1,231	△ 5	0
下水道事業会計	48,983	48,561	48,725	△ 164	△ 422
合 計	77,511	76,684	76,872	△ 188	△ 827

○主な増減(対前年当初予算比)

水道事業会計 水道施設・管路耐震化等更新事業の減 △346

下水道事業会計 下水道事業の運営経費の減 △75

※事務事業別の要求・査定状況は、別紙2のとおり

(2) 市長査定項目一覧

予算要求段階以降、直面する課題への対応をふまえ、市長の最終的な判断により予算化したものは以下のとおりです。

(単位：千円)

市長査定項目	内容等	一次 内示額	市長 査定額	最終 予算額
岡山駅前広場への 公共交通案内所等の整備	利用者利便性の向上のため、公共交通案内所兼待合所及び長庇を整備します。 (令和6年度は発注図書作成経費など)	-	30,000	30,000
放課後児童クラブの待機児童 の解消に向けた取組を推進	【施設整備を追加】 待機児童解消のため、計画的に施設整備（3か所）及び設計（3か所）を進めるとともに、新たに待機児童が発生する見込みとなった2か所についての設計を追加します。 【人員確保】 待機児童解消のため、支援員等の確保と定着に向けた手当の導入等を実施します。 【民間事業者支援】 待機児童解消のため、新たに民間児童クラブに対する開設準備経費及び賃料を補助します。	691,000	106,000	797,000
岡山城や造山古墳などの 歴史遺産の魅力等を発信	岡山城と戦国宇喜多家や、造山古墳と「新たな倭国論（古墳時代における吉備と大和の二頭政治）」の発信を通じて、歴史遺産の魅力を伝えていきます。	240,000	29,200	269,200
スタートアップ支援拠点を常設化	経済成長の担い手として期待されるスタートアップへの支援拠点として好評な「ももスタ」にイノベーション創出拠点としての機能を付加します。	100,000	20,000	120,000
商店街等の魅力向上・活性化支援	商店街等の魅力向上・活性化のため、未活用店舗のリノベーション費用の補助や商業者の育成などを支援します。	72,000	32,400	104,400
G I G Aスクール構想による ICTの活用	児童生徒の学力向上のため、1人1台配備しているPC端末に、AIドリルと学習支援ソフトを導入します。	318,568	135,432	454,000
就学援助制度の対象者の拡大	これまで公立小中学校等の児童生徒が対象であった就学援助制度に、私立小中学校を対象とするよう制度を拡充します。	892,000	5,000	897,000
難聴高齢者に対する 補聴器購入費用助成	高齢者の介護予防や生活の質の維持などのため、補聴器購入に係る費用の一部を助成します。	-	8,500	8,500
合計		2,313,568	366,532	2,680,100

※一次内示額及び最終予算額は、市長査定項目に関連する事業費を含む

(3) 国の補正予算等に伴う前倒し実施予定事業一覧

国の補正予算等への対応に伴い、以下の事業については、令和6年度予算から、令和5年度2月補正予算への前倒し実施を予定しています。

事業名	内容等
安全安心なまちづくり事業	・町内会等による防犯カメラ設置への支援に要する経費 ・高齢者への、特殊詐欺被害防止機能付き電話設置支援や後付けでの自動車急進抑制装置設置支援に要する経費
障害福祉分野のICT化推進事業	障害福祉サービス事業所等における情報端末導入等のICT化の推進に要する経費
児童福祉施設等のICT化導入補助	保育園等への登園管理システムの導入等のICT化の推進に要する経費
障害児福祉事業	児童発達支援センターの機能強化、医療的ケア児等に対する日中活動支援に要する経費
児童手当制度改正準備	制度改正に伴うシステム改修に要する経費
インバウンド誘客促進事業	外国人団体旅行客向けの宿泊助成及び飲食店ガイド外国語版作成に要する経費
国補道路新設改良事業	(主) 佐伯長船線、岡山赤穂線の整備に要する経費や橋梁及び横断歩道橋の長寿命化に要する経費
交付金道路新設改良事業	吉備スマートICの整備に要する経費
公共街路事業	(都) 下中野平井線、大元二日市町線の整備に要する経費
宅地耐震化推進事業	盛土による災害防止のための基礎調査、大規模盛土造成地の変動予測調査に要する経費
学校施設長寿命化改修事業	学校施設の長寿命化等に要する経費
学校給食費負担軽減事業	学校給食費における燃料費等の減免に要する経費
【下水道事業会計】 下水管耐震化事業	下水道施設における耐震化に要する経費
【下水道事業会計】 災害用マンホールトイレ整備事業	災害用マンホールトイレの整備に要する経費
【下水道事業会計】 流域下水道整備事業	児島湖流域下水道の整備に要する経費のうち、岡山市の負担分
【下水道事業会計】 ウォーターPPP導入検討業務	下水道施設の耐震対策に必要となるウォーターPPP導入の検討に要する経費

国
補
正
関
係

＜前倒し実施予定事業費＞

20億円（うち一般会計18億円）

7 「社会保障と税の一体改革」の充実

平成26年度からの消費税率の引上げに伴う増収分は、国・地方とも全て社会保障の充実と安定化に使われます。

区 分	H26.3.31以前	H26.4.1以降	引上げ率	R元.10.1以降	引上げ率
消 費 税	0.04	0.063	0.023	0.078	0.038
地方消費税	0.01	0.017	0.007	0.022	0.012
合 計	0.05	0.08	0.03	0.1	0.05

[引上げ率はいずれもH26.3.31以前との比較]

国・地方増収見込額 約14.1兆円

(注)軽減税率制度による減収分は考慮していない。

●岡山市における増収額及びその使途

○ 増 収 額

区 分	予算額	うち消費税率引上げによる増収分
地方消費税交付金	188億37百万円	100億99百万円

※なお、消費税率10%への引上げに伴う交付金の増収は、R2年度以降に歳入されています。

○ 使 途

(単位:百万円)

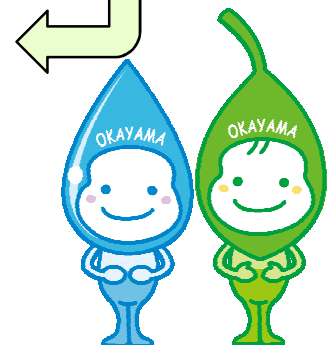
区 分	事 業 費	財 源	
		特定財源	一般財源
社会福祉費	23,990	16,395	7,595
老人福祉費	699	140	559
児童福祉費	52,394	32,384	20,010
生活保護費	21,603	16,327	5,276
社会保険費	27,888	5,138	22,750
保健衛生費	2,990	995	1,995
合 計	129,564	71,379	58,185

消費税率引上げによる増収分については、社会保障施策に要する経費に充当しています。

(注) 地方消費税交付金を充当する主なものは、以下のとおりです。

社会保障の充実経費

- ★ 子ども・子育て支援新制度への対応等
- ★ 低所得者保険料軽減措置の拡充等
- ★ 医療・介護サービスの提供体制の拡充
- ★ 難病・小児慢性特定疾病への対応
- ★ 社会的養護の充実



一般会計歳入・歳出

歳入

(単位:千円)

	6年度当初 A	5年度当初 B	差 引	増 減	構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	6年度 当 初	5年度 当 初
市税	132,321,718	134,384,183	△ 2,062,465	△ 1.5	34.3	37.1
地方譲与税	2,676,000	2,599,000	77,000	3.0	0.7	0.7
利子割交付金	45,000	45,000	0	0.0	0.0	0.0
配当割交付金	769,000	858,000	△ 89,000	△ 10.4	0.2	0.2
株式等譲渡所得割交付金	945,000	588,000	357,000	60.7	0.2	0.2
分離課税所得割交付金	147,000	164,000	△ 17,000	△ 10.4	0.0	0.0
法人事業税交付金	1,909,000	1,722,000	187,000	10.9	0.5	0.5
地方消費税交付金	18,837,000	18,557,000	280,000	1.5	4.9	5.1
ゴルフ場利用税交付金	104,000	110,000	△ 6,000	△ 5.5	0.0	0.0
環境性能割交付金	403,000	302,000	101,000	33.4	0.1	0.1
軽油引取税交付金	6,120,000	5,833,000	287,000	4.9	1.6	1.6
国有提供施設交付金	59,000	61,000	△ 2,000	△ 3.3	0.0	0.0
地方特例交付金	5,272,000	1,103,000	4,169,000	378.0	1.4	0.3
地方交付税	46,300,000	43,700,000	2,600,000	6.0	12.0	12.1
交通安全対策特別交付金	177,000	211,000	△ 34,000	△ 16.1	0.1	0.1
分担金及び負担金	1,499,794	1,682,247	△ 182,453	△ 10.8	0.4	0.5
使用料及び手数料	6,270,343	6,563,224	△ 292,881	△ 4.5	1.6	1.8
国庫支出金	75,126,058	74,347,837	778,221	1.0	19.5	20.5
県支出金	20,970,421	19,474,012	1,496,409	7.7	5.4	5.4
財産収入	4,054,695	539,085	3,515,610	652.1	1.1	0.1
寄附金	644,630	686,630	△ 42,000	△ 6.1	0.2	0.2
繰入金	9,652,291	10,223,931	△ 571,640	△ 5.6	2.5	2.8
諸収入	4,664,240	3,801,300	862,940	22.7	1.2	1.1
市債	46,608,300	34,724,700	11,883,600	34.2	12.1	9.6
合 計	385,575,490	362,280,149	23,295,341	6.4	100.0	100.0

歳出

(単位:千円)

	6年度当初 A	5年度当初 B	差 引	増 減	構 成 比 (%)	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B	6年度 当 初	5年度 当 初
議会費	1,142,060	1,158,942	△ 16,882	△ 1.5	0.3	0.3
総務費	41,893,559	30,013,780	11,879,779	39.6	10.8	8.3
民生費	152,408,779	146,134,864	6,273,915	4.3	39.5	40.3
衛生費	28,970,632	32,687,229	△ 3,716,597	△ 11.4	7.5	9.0
労働費	301,657	269,637	32,020	11.9	0.1	0.1
農林水産業費	6,894,210	7,096,868	△ 202,658	△ 2.9	1.8	2.0
商工費	2,977,861	3,702,785	△ 724,924	△ 19.6	0.8	1.0
土木費	47,592,963	47,448,330	144,633	0.3	12.3	13.1
消防費	9,968,000	9,468,031	499,969	5.3	2.6	2.6
教育費	59,323,287	49,128,079	10,195,208	20.8	15.4	13.6
災害復旧費	0	0	0	-	0.0	0.0
公債費	33,902,482	34,971,604	△ 1,069,122	△ 3.1	8.8	9.6
予備費	200,000	200,000	0	0.0	0.1	0.1
合 計	385,575,490	362,280,149	23,295,341	6.4	100.0	100.0

特別会計

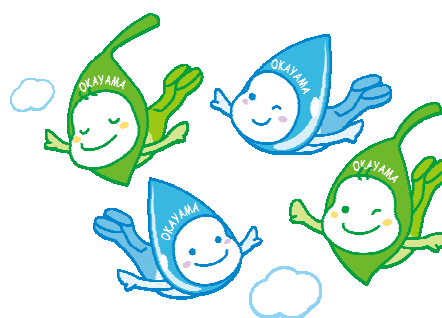
(単位:千円)

会 計 別	6年度当初 A	5年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B
国民健康保険費	67,148,059	67,814,022	△ 665,963	△ 1.0
用品調達費	45,958	47,086	△ 1,128	△ 2.4
災害遺児教育年金事業費	14,541	14,474	67	0.5
公共用地取得事業費	143,618	143,536	82	0.1
財産区費	8,014	27,295	△ 19,281	△ 70.6
学童校外事故共済事業費	12,978	13,297	△ 319	△ 2.4
母子父子寡婦福祉資金貸付事業費	277,396	227,014	50,382	22.2
介護保険費	70,257,201	71,740,343	△ 1,483,142	△ 2.1
後期高齢者医療費	13,086,388	11,266,429	1,819,959	16.2
公債費	45,107,646	46,130,039	△ 1,022,393	△ 2.2
岡山市立総合医療センター病院事業債	1,916,572	1,773,405	143,167	8.1
合 計	198,018,371	199,196,940	△ 1,178,569	△ 0.6

事業会計

(単位:千円)

会 計 別	6年度当初 A	5年度当初 B	差 引 増 減	
			増減額 A-B	増減率(%) (A-B)/B
病院事業会計	198,647	127,129	71,518	56.3
水道事業会計	26,262,000	26,463,000	△ 201,000	△ 0.8
工業用水道事業会計	436,000	326,000	110,000	33.7
市場事業会計	1,226,176	1,231,440	△ 5,264	△ 0.4
下水道事業会計	48,560,717	48,724,074	△ 163,357	△ 0.3
合 計	76,683,540	76,871,643	△ 188,103	△ 0.2



予算性質別経費

■ 一般会計

(単位:百万円)

区 分		6年度当初		5年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B
		予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)		
義務的経費	人件費	82,272	21.3	81,367	22.5	905	1.1
	扶助費	100,584	26.1	95,263	26.3	5,321	5.6
	公債費	33,819	8.8	34,856	9.6	△ 1,037	△ 3.0
	計	216,675	56.2	211,486	58.4	5,189	2.5
投資的経費	普通建設事業費	64,222	16.7	47,646	13.1	16,576	34.8
	補助事業費	22,556	5.9	20,313	5.6	2,243	11.0
	単独事業費	39,866	10.3	25,633	7.0	14,233	55.5
	国直轄事業負担金	1,800	0.5	1,700	0.5	100	5.9
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
計	64,222	16.7	47,646	13.1	16,576	34.8	
その他の経費	物件費	49,285	12.8	44,946	12.4	4,339	9.7
	維持補修費	6,015	1.6	6,019	1.7	△ 4	△ 0.1
	補助費等	18,819	4.9	20,890	5.8	△ 2,071	△ 9.9
	繰出金	27,896	7.2	27,246	7.5	650	2.4
	投資及び出資金	2,086	0.5	3,537	1.0	△ 1,451	△ 41.0
	その他	577	0.1	510	0.1	67	13.1
計	104,678	27.1	103,148	28.5	1,530	1.5	
合 計		385,575	100.0	362,280	100.0	23,295	6.4

■ 普通会計

(単位:百万円)

区 分		6年度当初		5年度当初		増減額 A - B	伸び率(%) (A-B)/B
		予算額 A	構成比(%)	予算額 B	構成比(%)		
義務的経費	人件費	82,278	21.2	81,372	22.3	906	1.1
	扶助費	100,590	25.9	95,269	26.2	5,321	5.6
	公債費	34,824	9.0	35,817	9.8	△ 993	△ 2.8
	計	217,692	56.1	212,458	58.3	5,234	2.5
投資的経費	普通建設事業費	64,322	16.6	47,746	13.1	16,576	34.7
	補助事業費	22,556	5.8	20,313	5.6	2,243	11.0
	単独事業費	39,966	10.3	25,733	7.0	14,233	55.3
	国直轄事業負担金	1,800	0.5	1,700	0.5	100	5.9
	災害復旧事業費	0	0.0	0	0.0	0	-
計	64,322	16.6	47,746	13.1	16,576	34.7	
その他の経費	物件費	49,289	12.7	44,949	12.3	4,340	9.7
	維持補修費	6,015	1.6	6,019	1.7	△ 4	△ 0.1
	補助費等	18,831	4.9	20,903	5.7	△ 2,072	△ 9.9
	繰出金	27,932	7.2	27,283	7.5	649	2.4
	投資及び出資金	2,086	0.5	3,537	1.0	△ 1,451	△ 41.0
	その他	1,641	0.4	1,439	0.4	202	14.0
計	105,794	27.3	104,130	28.6	1,664	1.6	
合 計		387,808	100.0	364,334	100.0	23,474	6.4

基金及び地方債現在高の状況

■ 基金の状況

(単位:百万円)

区 分	4年度末 残 高	5 年 度 中 見 込		5年度末 残高見込	6 年 度 中 見 込		6年度 当初後 残高見込	(参考) 5年度 当初後 残 高
		積立金	取崩額		積立金	当 初 取崩額		
財政調整基金	22,840	5,248	7,000	21,088	44	5,000	16,132	15,954
市債調整基金	1,529	70	—	1,599	74	—	1,673	1,613
公共施設等整備基金	15,754	34	2,000	13,788	35	2,000	11,823	11,845
3基金合計	40,123	5,352	9,000	36,475	153	7,000	29,628	29,412

(注1) 令和5年度の財政調整基金の積立金には、令和4年度決算剰余金の積み立て5,200百万円を含む。

(注2) 市債調整基金は、満期一括償還地方債の元金償還に係る積立額及び取崩額を除いたもの。

■ 地方債残高の状況

(単位:百万円)

区 分	4年度末 残 高	5 年 度 中 見 込		5年度末 残高見込	6 年 度 中 見 込		6 年 度 当初後 残高見込	(参考) 5年度 当初後 残 高
		元 金 償 還 金	借 入 額		元 金 償 還 金	当 初 借 入 額		
一般会計	(158,067)	(18,759)	(30,390)	(169,698)	(18,668)	(41,608)	(192,638)	(175,325)
	333,574	32,655	39,201	340,120	31,572	46,608	355,156	347,450
特別会計	13,745	960	700	13,485	1,017	835	13,303	13,615
小 計	347,319	33,615	39,901	353,605	32,589	47,443	368,459	361,065
事業会計	222,981	18,499	21,241	225,723	18,378	17,261	224,606	226,336
合 計	570,300	52,114	61,142	579,328	50,967	64,704	593,065	587,401
(再掲) 普通会計	(168,265)	(19,557)	(31,090)	(179,798)	(19,486)	(42,443)	(202,755)	(185,555)
	343,772	33,453	39,901	350,220	32,390	47,443	365,273	357,680

(注1) 「5年度中見込」の「借入額」欄は、令和4年度からの繰越事業分を含む。

(注2) ()内は、減税補てん債、臨時財政対策債等100%交付税算入される起債を除いたもの。

(注3) 元金償還金は、満期一括償還地方債の償還財源に充てるため市債調整基金に積み立てた額を含み、基金から繰入れて満期一括償還した額は除く。

